

令和5年度 先進都市視察 報告書

大阪府南部市議会 議長会

報告市議会	泉南 市議会
報告者	議長 森 裕文 副議長 岡田 好子 事務局長 奥田 雅則
視察日時	令和5年7月5日(水) 13:30~15:30
視察先	茨城県取手市
概要	<p>議会DXについて、委員会のオンライン開催について</p> <p>取手市議会では、令和2年からオンライン委員会を導入している。導入の経緯は、新型コロナウイルス感染症蔓延時に接触を避けるために個人端末でオンラインによる感染症対策会議を開催することにしたことが始まりであり、そのノウハウと令和2年8月に導入したタブレットを活用して本格的に開始している。</p> <p>委員長が認めたものについてオンライン開催の対象としており、実績としては、令和2年に6回、令和3年に38回、令和4年に17回委員会を開催している。貸与しているタブレットは、通信契約をしておりwifi、LTE回線ともに使用可能となっている。</p> <p>タブレット導入の成果としては、半年間で約9万枚、事務室内のコピー機は約1万5千枚のペーパーレスの実現や年間約130時間の議案書等のペーパー配布時間の削減が図れた。ペーパーレス化のシステムと同じシステムで表決も行っている。また、タブレットを活用した日程調整や日程確認、中学生とのコラボ事業等にも取り組んでいる。</p>

議会DXについて、委員会のオンライン開催について

所見

泉南市議会では、平成30年にタブレットを導入している。本市議会では取手市と同じシステムを活用し、議案書等のペーパーレス化を実現しているが、定量的な効果測定は行えていない。

取手市のタブレットの活用方策として、各種会議のオンライン開催だけでなく、現地視察や災害対応等のほか、様々な方面への活用の取り組みの説明を受け、今後の本市DXの取り組みとして大変参考になった。

また、本市議会では令和3年6月に会議規則を改正し、オンラインを活用した委員会の開催が可能となっているが、今まで開催した実績はない。オンライン委員会の要綱や、マニュアルは完備しているので、システム操作の慣れも重要であることから、今後は時間が短い会議が想定される場合等、積極的に活用し効率化を図ることが必要であると感じた。

議会DXについて、委員会のオンライン開催について

所見

